

津市総合計画後期基本計画（案）に係る委員意見一覧表

ページ	行	まちづくりの目標	委員	内容
71	下から5	安全で安心して暮らせるまちづくり	石見委員	【2-1 安全なまちづくりの推進 第2項 災害につよいまちづくりの推進】 (2) 治水対策の推進 安濃川水系（安濃川・美濃屋川）に穴倉川を追加挿入して頂きたい。
202	12	元気づくりプログラム	石見委員	【① 住みやすさ向上プログラム】 安濃川水系（安濃川・美濃屋川）に穴倉川を追加挿入して頂きたい。
39	全体	美しい環境と共生するまちづくり	井上委員	【1-2 次世代に残す自然環境の保全・創造 第1項 多様な自然環境の保全】 ●津市（5地域）を流れる一級河川雲出川の整備 東京に行く道中、新幹線、車で行っても他県のリバーサイドの整備、活用に目を見張ります。 当市の新雲出川物語推進委員会の事業を充実、拡大させ、伊勢市の宮川ルネッサンスのように、国土交通省に働きかけ、長期にわたり、毎年次の事業を展開する。 1 雲出川の清流化 流域住民は常に川を汚さず、そして定期的に住民、行政協働で清掃に努める。そして広報で取り上げ、広く市民に普及徹底をする。（市民の充実感） 2 リバーサイド（護岸）の整備 流域町の少なくとも橋、鉄橋周辺においては、雑草地から芝生化へ転生する。 雲出川流域、名松線の活性化とともに、美杉、白山、一志に何らかのストーリーを創造して、市内外から集客を図る。
59	全体	美しい環境と共生するまちづくり	井上委員	【1-4 生活基盤の整備 第4項 墓地の維持管理と新斎場の整備】 当市における墓地は飽和状態に近く、近い将来造成、建設が必要となっている。 そこで、将来必ずやってくる「樹木葬」の造成を提案します。 代々受け継ぐ家単位の墓石ではなく、桜など木の下に遺骨を埋める「樹木葬」への関心が高まっ

				<p>ています。</p> <p>少子化、非婚者の増加、先祖観や墓に対する意識の変化などを背景に、血縁にこだわることなく親しい者同士で自然に返りたいと願うケースが、最近特に増加傾向にあります。</p> <p>市の中心部である久居・美里周辺において、残る里山は人の手が入らず、荒廃の一途をたどっている。そんな中で、墓地として認可が下りた里山を樹木葬の地として利用することで、人間と共生できる里山として変えることができる。</p> <p>近い将来必ず来る樹木葬に備え、里山を公園墓地として開発されることを提案します。</p>
46	6	美しい環境と共生するまちづくり	川見委員	<p>【1-3 快適な生活空間の形成 第1項 住環境の整備】</p> <p>(2) 定住の促進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「住みやすさ」は人によって全く違うのではないか。 ・ “売り”となるポイントを効果的にPRしていただきたい。 ・ 学生など、一時的に滞在している人にも、津市の「住みやすさ」を実感できるような、「住み方」の“コツ”などをPRすれば、市外からの若者はとても興味がある。 ・ 学生の足は自転車なので、自転車用の観光ルートがほしい。
99	全体	安全で安心して暮らせるまちづくり	田部委員	<p>【2-3 地域福祉社会の形成 第4項 子育て・子育て支援の推進】</p> <p>子どもに関しては、次世代育成の基本にのっとって出されていると思っています。</p> <p>ただ、教育の分野になると、就学前教育プログラムなど、具体的になったとき、不安を感じています。学校教育を低年齢化させてしまわないか、という危惧です。</p>
89	16	「安全で安心して暮らせるまちづくり」について	林委員	<p>【1-3 地域福祉社会の形成 第1項 地域福祉の充実】</p> <p>現状と課題 (P89 「○」の5つ目)</p> <p>○地域福祉の充実を図るためには、地域特性に応じた福祉活動が住民の手によって自主的に行えるよう、情報の共有や活動団体への支援、支</p>

				<p>えあい体制づくりの構築など地域における福祉活動の基盤づくりを推進していく必要があります。</p> <p>↓修正</p> <p>○地域福祉の充実を図るためには、地域特性に応じた福祉活動が住民の手によって自主的に進められるよう、情報の共有や地区社会福祉協議会などの福祉活動団体への支援、えあい体制づくりの構築など地域における福祉活動の基盤づくりを推進していく必要があります。</p> <p>※ 活動団体では、わかりづらいため、上記のようにしたらどうか。</p>
91	14	「安全で安心して暮らせるまちづくり」について	林委員	<p>【1-3 地域福祉社会の形成 第1項 地域福祉の充実】</p> <p>(5) 地域における福祉活動の基盤づくり</p> <p>② 福祉活動団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じた福祉活動を住民の手によって行う地区社会福祉協議会やボランティア団体について、津市社会福祉協議会を通じて支援します。 <p>↓修正</p> <p>② 福祉活動団体との連携及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域特性に応じた福祉活動を住民の手によって行う地区社会福祉協議会やボランティア団体などの福祉活動団体と連携を図るとともに、津市社会福祉協議会を通じて支援します。 <p>※ 地域福祉を支える団体との連携や支援は必要不可欠なため上記のようにしたらどうか。</p>
95	3	「安全で安心して暮らせるまちづくり」について	林委員	<p>【2-3 地域福祉社会の形成 第2項 高齢者福祉の充実】</p> <p>(3) 高齢者の生きがいづくり・生活支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定については、認定調査の公平・公正性の確保のため認定調査員に対し指導や研修を行います。また認定審査会委員に対しては研修をはじめ、意見交換や情報交換の強化にも取り組みます。また・・・ <p>↓修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定については、津市社会福祉協議

				<p>会に委託し認定調査の公平・公正性の確保に努めておりますが、更に精度と公平性を高めるために認定調査員に対して定期的な研修や情報共有を行います。また認定審査会委員に対しては研修をはじめ、意見交換や情報交換の強化にも取り組みます。</p>
225	7	<p>総合計画後期基本計画（案）全体に対する意見等について</p>	吉岡委員	<p>【第5章 計画を推進するために 第5項 望まれる基礎自治体をめざして】</p> <p>このなかでは、「『風格ある県都・津市』の創造」という表記など、計画の基本的考え（コンセプト）となるようなことが多く記載されているので、「第5項 望まれる基礎自治体をめざして」は、第1章の第2項の「3 これからの津市のまちづくりとくらし」の中へ入れるのが望ましいと思います。なお、この場合には、いくつか表現を工夫することになると思いますが。</p>
36	7	<p>美しい環境と共生するまちづくりに対する意見等について</p>	吉岡委員	<p>【1-1 循環型社会の形成 第3項 環境への負荷の少ない社会の形成】</p> <p>(1) 環境負荷の少ないエネルギー施策の推進</p> <p>① 再生可能エネルギーの創出推進</p> <p>「・地域の自然環境や社会経済特性を生かし、汚泥などを用いたバイオマス発電などの再生可能エネルギーの創出を支援します。」とありますが、『汚泥』は「バイオマスのひとつ」ですが「再生可能エネルギー」とは言えないのではないのでしょうか。「地域の自然環境・・・生かし」とか「再生可能エネルギー」という文意からすると、「・地域の自然環境や社会経済特性を生かし、森林資源などを活用したバイオマス発電などの再生可能エネルギーの創出を支援します。」という表記が望ましいと思います。</p>